

人文学部子ども教育学科カリキュラム

125C

子ども教育学科は、幼稚園教諭および小学校教諭の養成を主目的として開設されている学科である。そのため、教員免許状取得に関連する科目を修得することを原則とする。

学科目群は聖学院エッセンシャルズ科目群（聖学院コア科目、技能コア科目、シティズンシップ科目、リベラルアーツ科目）、専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1にある単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1 子ども教育学科

学 科 目 群		卒 業 最 低 必 要 単 位 数						備 考
		必修	選択必修	選択	小計	自由選択	合計	
聖学院エッセンシャルズ科目群	聖学院科目 キリスト教理解	8			8	30	124	*1 留学生の語学科目の履修方法はP.147～152参照 *2 領域8単位以上選択必修
	技能コア科目 英語*1	4			6			
	第二外国語							
	ICT	2						
	セルフケア/ヘルステア							
	キャリアデザイン							
	コミュニティストディ							
	グローバルスタディ							
	リベラル科目 人間理解		8*2		8			
	社会理解							
自然理解								
専門科目群	共通基本科目 共通基本科目	2		45	72			
	児童文化系統	2						
	心理学系統	6						
	教育学系統	4						
	福祉・教育関連系統							
	教育関連科目	9						
	応用科目							
	演習科目	4						
合 計	41	8	45	94	30	124		

1. 用語の説明

卒業要件＝卒業するために必要な条件

必修＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。

選択必修＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。

選択＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。

開講期＝春：春学期に開講される科目

秋：秋学期に開講される科目

通年：1年を通じて開講される科目

集中：特定の曜日／時限以外、あるいは上記の通常講義期間以外で行われる授業。
別途日程を調整したうえで実施する。

○印：週1回授業

◎印：週2回授業

対象学年＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次生以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

人数制限科目＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

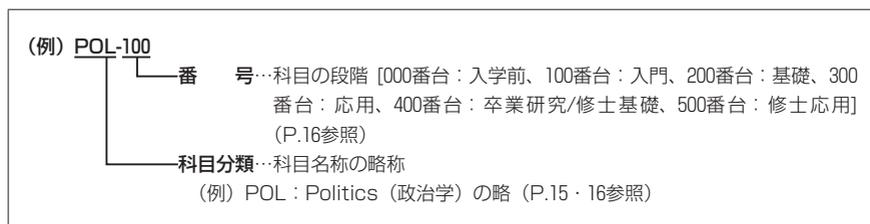
ステップアップ＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の**組み合わせ**で表記される。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる単位数は、25単位を上限とする。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、聖学院エッセンシャルズ科目群の最低単位数および専門科目群の最低単位数を除いた単位を自由選択科目と呼ぶ。これは、聖学院エッセンシャルズ科目群、専門科目群、他学部・他学科の専門科目群のいずれかから履修してもよい。

5. 科目によってはクラス指定があるので、確認の上履修すること。